

クロスメディアを総合力でプロデュースする

PTC GROUP

半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
TEL 0569-29-2525 (代) FAX 0569-29-4500
http://www.handa-cp.co.jp

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861

企画・制作：株式会社 新聞ビル

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』就職 —自分ドラマつくろう— (120) 岡田 清 治



■プロフィール

著者：岡田 清 治 (おかだ・せいじ)

1942年生まれ ジャーナリスト(編集プロダクション・NET108代表)

著書に『高野山開創千二百年 いっぱんさん行状記』『心の遺言』

『あなたは社員の全能力を引き出せますか』『リヨンで見た虹』など多数

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を下記のFAXかメールでお寄せください。
今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込む
ことを試み、一緒に考えます。
F A X: 0569-34-7971 メール: takamitsu@akai-shinbunten.net



【写真】ワクチンは希望の光となるか(著者撮影)

姪の就職2

原三郎は毎日、会社に出向いていた。社内の特別
応接室を顧問室として使っている。社長の伝次郎を除
く役員・部長・支店長を次々と顧問室に呼びつけては
なだめたりすかしたりしながら話を聞く。労働組合の
役員ともほぼ毎日、会っている。不思議なことに行内
にある種の緊張感のようなものが漂い始めていた。ス
トライキもストップして平常の勤務体制に戻っている。
だ、業績の方は一向に回復の兆しはない。

社長の植田伝次郎一人が、焦りのようなものを感じ
取っていた。このまま放置しておくに銀行を乗っ
取られる。伝次郎は自分の独断で原を連れてきただけ
に、いままさら出て行つてくれとは言えない。ほかの役員
に相談もできない。実際は榊原が融資部長から聞き出
した得意先の社長から原会計事務所を伝次郎にそれ
となく紹介するように仕組んだものだった。

伝次郎の頭に身売りの考えがチラツと浮かんだ。親
に強制的に引き継がされたとはいえ、自分の代で潰し
たくないと思うのだ。それで日に日に身売りの思
いが強まってくる。幸い、全国相互銀行協会傘下で近
畿地方の相互銀行十三行の社長とは親しく付き合っ
ている。月に一回か二ヶ月に一回程度のペースで親睦の
酒席の宴があつた。近畿以外の相互銀行の社長とはほ
とんど付き合いもないし、顔も知らない。また都銀、地
銀など大手金融機関との付き合いもない。身売りする
なら近畿の相互銀行しかないと思ひ込んでいた。

当時、近畿地方には神戸の兵庫相互銀行、大阪の近
畿相互銀行などが有力相手であつた。両行の社長もよ
く知つていたので、この両行のどちらかに頼もうかと
考えていた。

(いやー、規模はそう大きくなくても急激な伸びを
見せている浪華相銀の方がいいかも知れない。弱つて
いる銀行を助けるには、ほとぼしるエネルギーがある
ところがいい)、たえず呻吟している。

一週間ほど考え、迷つた末に決心を固めていた。そこ
で伝次郎は大阪の浪華相銀の藤田万吉を訪ねること
にした。

その日、藤田は植田伝次郎が女関に現れたので、明
るい声で座敷に向かい入れた。

「どうか、よろしくお願いします」

伝次郎は藤田万吉に深々と頭を下げた。

万吉は手伝いが運んできたお茶をすすめた。

「お忙しいところすみません。お電話でお話ししまし
たように、困つたことになりました」

「確かに、面倒なことですね。しかし、近畿内の相銀で
行でもフツフしたら、相銀主体のイメージも悪くな
りますなあ」

「藤田社長はんなら、きつとうまくやつてくれはると信
じています」

「植田社長さん、結局、人は自分の一番嫌なことを避け
ようとはしますが、それを他人にやつてもらうと一番高
くつくといふことですね。一番しんどいことを率先し
てやらんと、下もついて来ないということですよ」

「その通りです。そのことがよくわかりました」

「当行も決して楽ではないが、植田社長を見捨てるこ
ともできません。しんどいが引き受けましょう。正式
な手続きは後日、当行からご連絡しますので、ご安心
下さい」

藤田万吉は剛毅な男である。ワンマン社長だから誰
に相談することもなく、安請け合ひをした。藤田家は
江戸時代から長崎―大阪間の廻船問屋をしていた。
家風はだいたいが豪放磊落である。植田社長もそん
な社長が好きだし、頼りになると考え相談を決めてい
た。きつちり計算すると、山城相銀の買収は危険で損
な買い物であらう。しかし、計算で割り切れないもの
がある。時にはそれが情けであつたり、思いやりであつ
たりする。また心意気もある。情けに溺れると命取りに
なる可能性もある。逆に目先の計算にとらわれてあ
とで後悔することだつてある。要は自分の決断に納得
できるかどうかであらう。少なくとも藤田はそう思つて
いる。

藤田家の廻船問屋は明治に入つても盛況で二時は、
いまの大阪商船の前身の船会社と肩を並べるほどま
でに成長した。しかし、日清戦争の反動で拡張策が裏
目に出て倒産は回避したもの、大幅に合理化、縮小
を強いられた。当時の海運会社は大変深刻な状況に
あつた。瀬戸内の船主は住友財閥の実力者、広瀬幸平
のもとに集まり、大同団結して明治十七年、大阪商船
として誕生。万吉が藤田家に養子に迎えられた大正
末期には家業の廻船問屋を細々ながら続けていた。

万吉は大阪、泉州の狭山町にあつた小池家の長男で
ある。小池家は代々、代官の職にあつた名門である。豊
臣秀吉によつて小田原城を攻め落とされたために、小
田原から狭山に移り住んだ。経済に明るい武士といふ
ことで狭山でも代官に起用される。代官といふのは、
百姓から年貢を直接徴収したり諸役を命じたりす
る役目である。明治の廢藩置縣で藩札が不渡りにな
り、小池家の万吉の先代がその責任をとつて滅んだ。
姉のしずが片桐家の斎三の父、藤田太郎に嫁ぎ万吉が
藤田家の養子となつたことで、小池家は消えた。藤田
万吉は苦学して山口高商を卒業ししばらく家業の廻船
問屋を手伝った。このままでは将来の展望がない。事業
欲旺盛な藤田は新規事業を画策した。これからは金
融の時代だと読んだ藤田万吉は、和歌山市内に「紀
伊無尽」をつくり金融業に乗り出した。戦争中の統制
令で、県下の無尽会社が一社に統合された。吸収合併
された形だったが、経営手腕を発揮、頭角を現しつい
には社長の座についていた。しかし、応召で一時、社長
を辞したが、昭和二十二年に復員、二十三年に社長に復
帰。営業区域が近畿一円に広がつた。二十六年一月本店
を和歌山から大阪に移転。全国で十指に入る相互銀
行にのし上げていた。

役員会の席上、議長役の藤田は唐突に提案したので
ある。

「山城相銀の株式の5割強を譲り受けた。これから先
当行の責任において山城相銀を経営することにした」
役員会の案件というより事後報告である。

「森山淳常務を将来の社長含みで山城相銀に派遣し
ます」

一斉に拍手が起こり、すんなり了承された。森山常
務は藤田万吉と無尽時代から苦楽を共にした仲で、い
わば万吉の片腕的な存在であつた。この頃はまた、山
城相銀に対して悲観的な見方はなかった。今回の人事
は森山常務に対するいわば論功行賞としての色彩が
あつた。

一方、京都の山城相銀である。植田伝次郎は役員会
で大株主に浪華相銀がなつたことを報告するととも
に、社長を辞任、相談役に退いた。弟で専務の竜太郎も
辞任。瞬、どよめきが起こつたが、すぐに静まり返り
了解のうちに散会した。

浪華相銀では森山淳をすぐ社長に据えろと具合が
悪いだらうと、京都人で有力な人を迎えることにし
た。京の染織の名門、会社の会長で衆議院議員でもある
M氏に白羽の矢を立てた。M氏は銀行の経営について
は全くの素人である上に八十歳の高齢であつた。浪華
相銀としてはむしろ名門だけの社長で良いと考えてい
た。当時、地方の相互銀行にはこうした名前だけの社
長が割合、多かつた。

真三は喉が渇いたので、るり子にお茶を持ってきた。ほ
しいと頼んだ。絶えず、のど飴を口に入れて喉をすつき
りさせていた。コンビニとかスーパーに行くとい何種類
もののど飴が並んでいた。真三はハチミツ入りのもの
を頼んでいた。

るり子がお茶と飴を数個お盆に載せて書齋に入つ
てきた。

「相変わらず、飴をなめるのですね」

「仕方がないだらう。いがらっぽいのだから」

「そうですか」

るり子は黙つて聞き流しながら「いよいよワクチン
が日本に入ってきましたね」

「そうだね」

「高齢者は四月ごろには接種できるのですよ」

「どうも混乱しているのか、取り合ひになつてゐるのか、
確かな情報がないようだな」

「私はアナフィラキシーショックの心配があるので、接
種しないつもりです」

「そうだな。ただ、接種は国民の努力義務だから役所
に連絡しないと、あとで文句言われるかもしれない
な」

「そうですね」

「おそろく掛かりつけの医師に相談して回避の証明書
のようなものを求めるかも知れない」

「いやですね。以前、ハチに刺された時に全身に蕁麻疹
のようなものが出て、高熱になり、近くのクリニックに
駆け込んで注射を打つていただき難を逃れました。次
にかかったときは命の危険があると言われたのです
よ。だれが保証してくれるのですか」

「医師が判断するだらうが、最後は自分自身の判断に
委ねるだらう。ただ、接種した者との差別を受ける心
配があるかも」

「どんな差別ですか」

「わからんが、例えば飲食店をはじめ多くの人が集ま
る場所への入場拒否に使われる心配はあるわな」

るり子は不機嫌な顔して部屋を出ていった。

知多の哲学散歩道 Vol.25

「鈴溪義塾物語・盛田昭夫と平岩外四の思想④」
久田健吉（哲学研究者）

今月から平岩外四の共生の経営論を書くことにします。
しかし平岩がこの共生の経営論に至るまでには多くの道のりを経験しています。この道のりを前史として概観しておきます。

第一に原発の問題があります。この問題は、平岩は東京電力の会長としてあったわけですので、避けては通れません。実際、原発は平岩が導入したようなもので、彼自身多くを語っています。しかし原発問題を取り上げたら、平岩の優れた共生の経営論は語れなくなってしまいます。大問題ですので。平岩の原発論については私の著書、『企業哲学と共生の経営論を説いた盛田昭夫と平岩外四―鈴溪義塾の継承者たちの思想』をお読みください。詳しく論評しておきました。ここでは、最終回に少し触れるに留めます。

平岩の前史を以下の4項目で述べることにします。

①電産労働組合とのたたかいの中で電力を守る。
②補佐に徹して経営論を磨く。
③安岡正篤から東洋学を学ぶ。
④R・チャンドラーの言に共鳴。

①について。
戦後当初の電産労組は、要求を通す手段として送電を切るを武器としていました。いわゆる電産ストです。電気は市民生活と産業活動の大動脈です。平岩は労組幹部とこのことで話し合い、送電ストップを闘争手段にしないことをお願いして、電力事業を正常化しました。企業は社会との一体性の中にあるということを示したのです。

②について
平岩は、木川田一隆が社長であった時に秘書として長い間仕えました。その中で、秘書論を補佐論に発展させます。秘書は社長を助ける職ですが、同時に社長が倒れた時、代行できるのでなければなりません。社長を補佐する、この思想を労働者全体が持ったら素晴らしい会社になります。秘書論を補佐論へと発展させ、みんなの会社を目指したのでした。

③について
「安岡先生が東洋の英知について、私の蒙を啓いてくれた」と平岩は言います。人間は矛盾の中に生きており、その中で行動するものである。それゆえ、洞察力を磨き、大局観でものを見るのでないと間違いを犯す。「怨」の心を学んだと言います。人間の願いは幸せになることだと理解できたとも言います。

④について
R・チャンドラーの言は、「タフでなければ生きていけない。しかし優しくなければ生きていく資格がない」です。平岩はこの言に共鳴したと言いますが、この言はまさに哲学の格言に匹敵します。強くなければ生きていけないが、愛情のある思いやりのある強さでなければ意味がないと言うのですから。

これらの前史を見ると、平岩が、盛田の企業哲学に共鳴する素地を持っていたことが分かります。①では社会と一体性にある会社論が、②では労使一体で会社を善くしていこうという思想が、③では怨の心による会社経営論が、④では愛情ある強さこそ必要と説かれています。

この素地から、盛田昭夫との出会いの中で、共生の経営論が開花してくるのです。



「なんて孫は可愛いのかしら」と世の人は言う。
今、娘たちに「あの頃さあ、近所の子ども同士仲良しだったよね、イタズラしたよね。親にナイショで買い物に行ったよね。冒険ボーイ事したよね」と話を聞かされても、ほとんど私の記憶にはありません。学校での事はなんとか思い出せるんですが、「子育てで、」なんて胸張って言えない私です。反面教師なんですかね。娘たちの子育てで見ると「愛情たっぷり」で、「怒る」んじゃないかと「叱る」という、ちゃんとした親の姿。

日々是好日

「やっぱり そうだよな」

私が孫たちに何かを教える順番はないのかなあ。ありましたー唯一「孫との濃い時間を持った」「お風呂」「しりとり、九九、保育園での様子、バアちゃんだけに教えてくれるナイショ話し。そうそう、お湯かけごっこもしたなあ。

そんな私の楽しみをいつの間にか、ジイちゃんに奪われてしまいました。そりやそうだ。孫はみんな男の子だもんね(笑)。

我が子を育てる時は、自分だけの時間は持てず、さらに同居で自営となると、子どもの泣き声、だだをこねる、怪我をする。「ンもううー今、手が離せないのに、なんで」と私はパニックになるばかりでした。子育てに余裕がなかったなあと振り返ります。

さて、「孫はかわいいし、」多少の心配はしてても、焦る事もないし、声を

応募
日々の生活の中でチョットしたこんな事・あんな事・心とむ事、面白いエピソード等この欄へどしどし応募してください。
(原稿用紙2枚程度)
応募先:あかい新聞 武豊店(郵送またはFAXにて)
住 所:知多郡武豊町字金下37番地
T E L:0569-72-0356
F A X:0569-72-6002

荒らげる事もない。「バアちゃん」と言われると眉間のシワも浅くなり、目尻のシワは深くなる(笑)。たつたそれだけで幸せって思う。そうなんです。無責任の立場なんですよ。元気でいる限り「見守りたい」との思いは、親には負けてませんよ。その思いのさじ加減を間違えないように。「バアちゃん」と声を掛けてもらえる私でいたいなあ。今日も元気に過ごせた事に感謝です。

磯貝みよ子

オレ、オレ、僕

僕の快進撃は止まらないよ!! 今日もサッカーでゴールを決めたぜ!!と、大きな顔でパパに報告したよ。1試合に2回も決めたんだよ。僕って、カッコよすぎじゃないかなあ?と、自画自賛の僕に固りのみんなは「つまらないや」かなのだ。この時は、僕も、いつも優しいパパも冷ややかだったよ。でも、一番冷ややかなのは、Kちゃん。そして、いつも僕の味方をしてくれるのはおじいちゃんとおばあちゃん。まあ、今日は2ゴールを決めた、満足の僕なのだ。何故、こんなにも頑張っているかというと、1ゴール決まると、春休みにプロ野球のオープン戦にパパが連れて行ってくれるんだよ。席は外野だけれどね。約束したんだよ。2ゴール決めたから2回連れて行ってくれるんだ。2回とも外野席だけれど、僕はすごく楽しくしているんだ。電車に乗って、地下鉄に乗って、改札を出て選手の写真を見ながら地下通路を通って、ナゴヤドームに到着さ。ナゴヤドームに到着したら、まずはパパにお弁当を買ってもらうんだ。前に行った時は選手がプロデュースしたお弁当を買ったも良かった。うふふ。僕はがつり食べたくマ京田弁当を選んだんだよ。からあげも入って、美味しかったよ。ナゴヤドームで今度は何を食べていいかなあ……と、今、



若竹俳壇

作品募集
毎月10日までに葉書で
発行所へ

早春賦口ずさみしはいつの日かあれこれと三寒四温の服選び菜の花や黄色の寢真つ盛り余寒なおテレビ体操もたまたと先駆けの百花しのぎで寒紅梅強風にあらわれ手の行く春帽子初午の轍は二列末廣社蝶生る低き世界より高きへと野焼果て夕日を宿す男の背囀りのピアノニッシモに魅せられて雨あがる梅の香りはいづこから水温み魚影の姿数増して内裏離落椿姿そのまま草の上白木蓮天に向かかって開花待つ我が畑を占領するや仏の座山眠る宮が山燃え十日間我が心荒めば海も冬の荒れ花の苗植えて楽しむ雨水かな愛犬の脆き足元冬の路地見渡すや土筆総出の土手の道節分やコロナ退散福は内卒業の皆勤賞を褒め称えひなの夜の金箔の手文庫まぶし寒と暖入り乱れつつ二月果つ鶯の初音聞こえし散歩道しのめの戸板バタバタ春嵐春の陽や赴任の吾子は外つ国へ春めくも失言ばかり前会長蒲公英や防草シートの上に咲く春めくや阿弥陀観音はほえみてつくづくと平和はよろし干蒲団新車ショー宛ら春の農機具展春暁や紫立ちて雲の影夏みかん学生服の二人乗り雪被り鈴鹿山脈近くあり地下街を出れば今年の春一番誰れも来ず何処にも行かず目刺焼く真ツすぐに行けば本堂春近し囀や舌頭干転線返し春水は病葉浮かべ流れ早し春風に海望む丘地鎮祭春炬燵夫婦湯呑みと旅ガイド芽柳や味噌樽掲ぐ町役場ひよどりが椿をゆらす屋下り

▼工作「イースターのかざり」
内容 ダンボールや画用紙・モールなどを使って、春らしいイースターの飾りを作ります。 一個 百五十円
▼工作「ジョー」 内容 発泡スチロール球やモールでマスコットを作り、木を組み立てて作ったジョーに乗せて遊びます。 一個 百円(五月末まで実施)
▼工作「プラデコ」 内容 プラ板に不思議なインク(グラスデコインク)を使い、盛り上がった絵を描きます。 一個 百五十円(六月末まで実施)
十五日(木)〜六月三十日(水) 午前九時〜午後五時
▼工作「草であそぼう」 内容 草を使っておしゃれなミニバッグやストラップなどを作ります。 各個 百二十円
▼工作「おしやれグッズ①」プレスレット②チョーカー」 内容 ダンボールの土台に①は布とワイヤーなど、②はジャンパンのふた

吉田ひろし 谷川と志江 多田 昭子 長坂みつゑ 池田ユタカ 塚本 千鶴 蟹江 永了 齊藤 浩美 加藤 久子 関 里美 細井かね子 杉江 三子 竹内三子 平野 紀江 磯村美耶子 中尾 節也 古川 義高 古川 三恵子 山下 望子 山田みどり 清水ドラ吉 林 京子 桑山 撫子 竹内 一穂 大津くによ 中村 照代 中村 久恵 山端 洋子 浦崎ひとみ 杉江 タエ 村井 範子 竹内 艶子 竹内 佳香 服部 薫平 豊吉 義夫 日比 義則 山下 靖久 坂下 悠児 山下 敏子 岩橋 久美 横野 侃 山本なづな 中村 洋子

▼小ギャラリーとこなめ (常滑市陶磁器会館内)
▼2人展 手まり板倉さえ子 型染大西春伸・一日(木)〜六日(火) 午前九時〜午後五時 無料
▼乙田窯 作品展・十五日(木)〜二十日(火) 午前九時〜午後五時 無料
▼中野勝旨 インテリア水槽展・二十二日(木)〜二十七日(火) 午前九時〜午後五時 無料
▼陶房杉 春の器展・二十九日(木)〜五月四日(火) 午前九時〜午後五時 無料
▼常滑屋 暮らしに役立つ骨董展・夢倉庫・十一日(日) 生活の中で使える器や茶道具、小物など、昔懐かしく今では手に入らない素敵な道具を見つけにお越しください。
▼「春を楽しむフアッション展」撫子座・二十七日(火)〜五月二日(日) 大人かわいいカラフルなお洋服、春らしく明るい色でみなさまをお待ちしています! 楽しい小物もあり。一入フアッションショーをお楽しみください。
▼方円館
▼山本淳平 陶展・七日(水) 午後二時〜三時 講師 北川美香さん(絵本セラピスト/カラーセラピスト) 定員 九名(中学生以上) 申込要
▼クリアファイルでマスクケースを作ろう・二十五日(日) 午前十一時〜正午 定員 十名(小学生二年生以下は保護者同伴) 申込要
◎武豊町立図書館
▼絵本セラピー・十八日(日) 午後二時〜三時 講師 北川美香さん(絵本セラピスト/カラーセラピスト) 定員 九名(中学生以上) 申込要
▼クリアファイルでマスクケースを作ろう・二十五日(日) 午前十一時〜正午 定員 十名(小学生二年生以下は保護者同伴) 申込要
◎武豊町中央公民館
▼パソコン広場・一八、一五、二二、二九各木 午後二時半〜四時半 問合せ NPO 知多ネット ☎090-8422-4251(鈴木)
▼武豊自然観察会 里山の春を感じよう! 別曽池周辺にて・四日(日) 午前九時半〜 料 金 五十円(保険料) 問合せ 知多自然観察会 ☎080-1631-0413(畑中) ※申込み不要、小雨決行、小学生以下は保護者同伴
◎武豊町民会館
▼ゆめたろうプラザ
▼ゆめプラザイト総会アトラクション 女性アンサンブルマリモ座 WAVE歌! ハートフルコンサート・二十四日(土) 午後三時開演 料 金 ゆめプラザイト会員

無料(要会員登録) 一般 五百円 全席自由 演奏曲「いのちの歌」カルメン・メドレー「唱歌の春他
▼武豊町民劇団 TAKE TO YOU 新人募集ワークショップ・二十五日(日) 午後二時〜二時開演 問合せ 「」事務局 ☎090-1743-40569 ※劇団募集の第一次締切り 五月八日(土)
▼タンゴ界の革命児ピエソラ生誕百年のメモリアル「AMATO String Quartet」・二十九日(木) 午後三時開演 演奏曲「フエスアイレスの四季」、ピアノソロ、映画音楽ほか
◎くすのき児童館
▼わんぱくクラブ・十五日(木) 十一時〜同十二時半 申込要
◎おおあし児童館
▼わんぱくクラブ・二十二日(木) 午前十二時〜同十二時半 申込要
◎富貴児童館
▼おはなしカルテット・十日(土)、十五日(木)、二十四日(土) 各午前十時半〜同十二時半 申込要
◎半田町の科学館
▼新企画! 大人のため観察会「星空パティー」大型望遠鏡を使ってゆつたりと星を眺めたりスケッチしたり普段できない体験をしてリフレッシュしよう! 九日、二十三日各(金) 午後七時半〜同八時半 定員 五名(高校生以上) 要申込(先着順) 参加費 一百二十円
▼Dr.nandate ナイトプラネタリウム Dr.が星を見る楽しさをやさしく教えてください 老若男女問わず大歓迎! 十六日(金) 午後七時〜同八時半 定員 百名(小学生二年生以下は保護者同伴) 加費 三歳〜中学生 百十円 高校生以上 三百円
▼星見会 月と火星を見よう! 大接近中の月と火星をメインに冬と春の天体を望遠鏡で観察します! 十七日(土) 午後七時半〜九時半 対象 ぶなたでも 定員 三十名(先着順) 参加費 三歳〜中学生 二百円 高校生以上 三百円
▼春の企画展「知多のチョウと虫たち」知多半島でみられる蝶を中心に、身近な昆虫のイキイキとした姿を写真や実物標本で紹介! 十七日(土) 午前九時〜午後五時 対象 ぶなたでも 定員 なし 参加費 無料
※申込要のイベントは三月五日(金)受付中
問合わせ 半田町の科学館 ☎237-1775

わが家のニューフェイス



岩川歩夢(6才) 史菜(1才) 蒼生(4才) 武豊町

写真・文	い	た	く	し	ん	ち	い	か
	り	と	た	あ	い	い	み	
	し	の	も	る	さ	で	の	
	う	を	と	く	か	す	い	
	あ	し	お	ら	た	う	お	
	い	た	あ	い	け	ま	な	
	す	り	お	い	た	か	も	
	き	、	き	お	い	ま	す	
	だ	な	な	く	は	は	す	
	よ	の	た	な	は	は	す	
		を	ら	り	さ	く	あ	

い	な	し	ぼ
い	ま	ふ	く
ま	え	う	の
す	は	か	い
し	し	し	も
ま	ま	ま	う
は	し	し	と
は	し	し	を
す	し	し	
く	し	し	
あ	し	し	

愛とMy Family



富田紗良(1才) 愛心(3才) 常滑市

写真・文	や	反	つ	く	い	や	す	手
	う	た	て	て	で	ん	る	く
	け	が	も	、	す	の	の	な
	ど	楽	大	お	！	愛	が	リ
	ず	し	好	菓	愛	べ	大	、
	？	く	き	子	ち	ち	好	お
	と	少	で	も	や	き	話	
	仲	し	！	分	ん	で	し	最
	良	い	愛	け	と	す	た	近
富	く	じ	べ	く	は	！	ソ	お
田	し	わ	ち	れ	い	あ	の	し
	て	る	や	て	っ	と	歌	2
麻	ね	し	ん	、	も	お	ベ	歳
純	心	ち	の	と	面	姉	リ	に
					白	ち	上	は
							す	紗
							う	良
								は
								！
								私
								の
								名

あかい新聞店では
一緒に働く仲間を
大募集しています!!

平日のみのお勤め可能です!!



未経験
大歓迎

朝刊配達

自転車またはバイクで
新聞の配達をするお仕事です。

勤務時間 AM3:00～(1～2時間)
給与 月給 30,000円～50,000円
(配達部数によって変わります)
休日 月4日以上

集金業務

新聞購読者の各家庭を
回り、新聞購読料を徴収
するお仕事です。

勤務時間 決められた期間内に
終わらせてください
給与 集金件数によって
変わります

夕刊配達

月～土、週6日
自転車またはバイクで
新聞の配達をするお仕事です。

勤務時間 PM2:00～(1時間程度)
給与 月給 25,000円～
(配達部数によって変わります)
休日 日・祝日

- ★アットホームな職場です!
- ★バイク、自転車貸します!
- ★正社員として活躍できる
チャンスがあります!
- ★お休みの相談が
しやすい!
- ★服装・髪型自由!

訪問集金でお支払いの
購読者の皆様へ

口座自動
振替払いに
切り替えませんか?



口座振替にすると
お支払いがラクラクあんしん!

- メリットたくさん!
- 毎月決まった日に引き落とされるからお金の管理がラク!
 - 忙しい時間に手間を取らない!
 - 不要な対面を避けられる!

ご利用可能な金融機関
JAバンク・三菱UFJ銀行・ゆうちょ銀行・半田信用金庫・知多信用金庫・西尾信用金庫

▼詳細・お申し込みはこちら▼

中日新聞
あかい新聞店 武豊 0569(72)0356
常滑 0569(35)2861

※詳細は担当 赤井までお気軽にお問合せください

中日新聞
あかい新聞店 武豊 0569(72)0356
常滑 0569(35)2861